

令和7年2月12日(水) 令和7年度当初予算(案)

記者会見 質疑応答要旨

令和7年度当初予算全体

(記者)

重点事業のうち県内初の取組はありますか。

(市長)

不妊治療助成事業のうち、先進医療を助成対象とした点について県内初の取組となります。また、フリースクール等授業料補助事業や高校生授業料助成事業なども県内初の取組となります。

(記者)

令和7年度当初予算の予算規模が過去最大となった要因を教えてください。

(市長)

鳴門市は財政状況が非常に厳しい時期が続き、必要な施設整備等に着手できなかつた部分が多くありました。近年、オートレース事業の好調などもあり、予算配分できる状況となったため、これまで遅れてきた文化会館耐震改修事業など防災対策を加速しております。物価高騰の影響など厳しい情勢

ではあるものの、今着手しなければ間に合わないと考え、予算の重点配分とともに、人員配置も行っております。

(記者)

今後、どのような事業に重点的に予算配分するのかあれば教えてください。

(市長)

今後は、新スポーツ施設整備事業や、(仮称)大麻町総合防災センター整備事業があります。また、既存施設である健康福祉交流センター改修事業や(仮称)地域共生センター改修事業、うずしお会館改修事業などのハード整備を行うとともに、防災対策事業などのソフト事業も重点的に行ってまいります。

南海トラフ巨大地震に備える防災力強化事業

(記者)

中学校屋内運動場空調設備整備事業の今後の方針を教えてください。

(市長)

令和5年度から本事業は開始しており、令和5年度には第一中学校の設計を行い、現在、第一中学校の工事を行っております。大麻中学校については、現在設計を行い令和7年度に工事を予定しております。瀬戸中学校については令和7年度に設計、令和8年度に工事、鳴門中学校、第二中学校の順序で整備を進めていき、令和10年度には市内の5つの中学校への整備が完了することとなっております。

(記者)

そのほか、さまざまな防災力強化事業がありますが、能登半島地震を受けて担当課が事業選定を行っているのでしょうか。

(市長)

鳴門市では、2035年の前後5年間の危険性が高いという説を受け、2030年を1つの目標に定め、さまざまな防災減災対策を実施する計画を立てております。大前提としていつ起こ

るか分からないため、目標年度は定めつつ、迅速に対策を進めていくこととし、事業選定を行っております。

また、昨年度には、危機管理対策基金を創設し、こうした防災減災対策事業に活用するように基金積立を計画的に実施してまいります。

なると まるごと 子育て応援パッケージ事業

(記者)

不妊治療助成事業のうち先進医療分の想定件数等があれば教えてください。

(市長)

不妊治療助成事業として予算額1,015万円計上しておりますが、先進医療分もこの中で対応していくこととなります。令和7年度から新たに助成対象となるため、対象件数は現状不明ですが、令和7年度実績等により想定件数は見えてくるかと思えます。また、不足する場合には、補正予算対応も見据えて対応していきたいと考えております。

(記者)

保育士人材確保推進事業(奨学金返還助成事業)について、これは県内初の取組か、また想定の対象人数があれば教えてください。

(市長)

本事業は、県内他市町での事例があるため、県内初の取組ではありません。想定人数については、奨学金の有無など個人的事象を含むため、現状は人数調査を行っておりませんが、在職者の3分の1程度が対象になるのではないかと判断し80人として積算しております。

なると うずっ子 学力向上パッケージ/plus 事業

(記者)

フリースクール等授業料補助事業について、現在鳴門市にフリースクールは何か所か教えてください。

(市長)

個人で実施されている場合など、把握しきれていない箇所がある可能性もありますが、本市で把握しているのは1か所です。ただし、本事業は市外のフリースクールに通う市内児童生徒も対象とすることを想定しているため、対象となる施設は1か所ではありません。

(記者)

新スポーツ施設基本計画策定業務について、スポーツ施設は、スケジュールや施設建設予定地などは決定しているのでしょうか。

(市長)

新スポーツ施設基本構想検討委員会を立ち上げ、施設規模や建設予定地を提言していただくこととなっており、現状はボートレース鳴門西側の敷地が候補になるのではないかと提言をいただいております。

スケジュールとしては、令和7年度から基本設計に取り掛かり、基本設計次第ではありますが、3～4年かかるものと考えております。

文化会館耐震改修事業

(記者)

文化会館耐震改修事業について、スケジュールとして工事着工の想定を教えてください。

(市長)

文化会館耐震改修事業は、設計施工一括発注方式を採用しており、現在進めております実施設計と並行して工事に向けた準備作業等を行えるため、設計完了次第、工事着工という流れになります。令和7年8月に実施設計完了予定であるため、同年9月頃から工事着工となります。

その他

(記者)

市税が前年度と比較して5億円ほど増額となっておりますが、要因があれば教えてください。

(市長)

鳴門市のみ特筆して増加しているものではなく、全国的な傾向であると考えております。